

2026年3月期決算概要



日進工具株式会社

2026年5月14日
(証券コード6157)

目次

1. 2026年3月期の業績

P. 3	・・・	決算の概要
P. 4	・・・	営業利益の増益要因
P. 5	・・・	損益計算書サマリー
P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
P. 7	・・・	業績推移

2. 2027年3月期の業績予想

P. 14	・・・	業績予想
P. 15	・・・	設備投資と減価償却費のトレンド
P. 16	・・・	配当予想

参考資料

P. 18	・・・	日進工具の概要
P. 19	・・・	沿革・業績推移
P. 20	・・・	当社製品とその市場について
P. 29	・・・	コーポレートガバナンスの体制
P. 31	・・・	株式の状況
P. 32	・・・	主要データ推移・投資指標
P. 34	・・・	株価推移とバリュエーション
P. 35	・・・	I R情報サイト/ ニュースメール登録のご案内

2026年3月期の業績



決算の概要

前期に比べ増収・増益

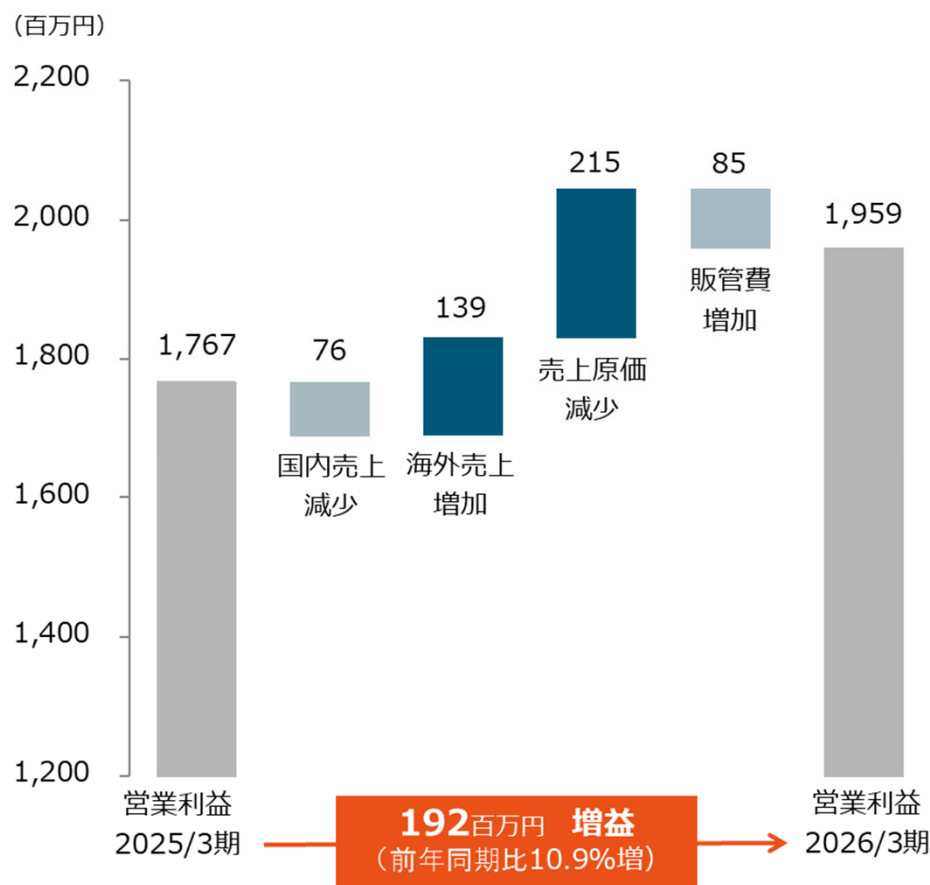
通期業績予想を2026年4月20日に上方修正

(単位：百万円)	通期予想 ※	2026年3月期 通期実績	予想対比
売上高	9,140	9,494	354
前期比	-3.1%	+0.7%	+3.9%
営業利益	1,310	1,959	649
前期比	-25.9%	+10.9%	+49.6%
経常利益	1,330	2,011	681
前期比	-25.3%	+13.0%	+51.2%
当期純利益	940	1,442	502
前期比	-25.7%	+14.0%	+53.4%

※2025年10月31日公表の通期業績予想

- 国内ではAI及びデータセンター分野が活況となったことにより、半導体関連では製造装置から検査工程に至るまで幅広く需要が活発となり、電子部品・デバイス関連についても概ね堅調に推移した。自動車関連においては、HV車を中心に、量産及び部品加工で回復基調が見られた。さらに海外では、中華圏を含むアジアを中心に自動車や光学、データセンター関連向けが好調に推移した。
- 連結売上高は9,494百万円と、前期比0.7%の増加となった。
- 連結営業利益は1,959百万円と同10.9%の増加、連結経常利益は2,011百万円と同13.0%の増加。3期ぶりに経常利益が20億円を超えた。
- 売上高営業利益率は20.6%、売上高経常利益率は21.2%となった。利益率は共に20%超に回復。

営業利益の増益要因



- 売上高は国内が前期比76百万円、1.2%減少、一方海外は同139百万円、4.4%増加した。売上高全体では同63百万円、0.7%の増加となった。
- 増産による量産効果と原価低減の取り組みにより、製品製造原価が減少した結果、売上原価は同215百万円、4.8%の減少。
- 販管費は同85百万円、2.7%の増加となった。販売費は減少したものの、人件費が増加した。
- これらの結果、営業利益は同192百万円、10.9%増加し1,959百万円、売上高営業利益率は20.6%と前期より1.9ポイント上昇。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比
売上高	9,431	9,494	+0.7%
売上総利益	4,983	5,261	+5.6%
対売上高比率	52.8%	55.4%	
販管費	3,215	3,301	+2.7%
対売上高比率	34.1%	34.8%	
営業利益	1,767	1,959	+10.9%
対売上高比率	18.7%	20.6%	
経常利益	1,779	2,011	+13.0%
対売上高比率	18.9%	21.2%	
当期純利益	1,264	1,442	+14.0%
対売上高比率	13.4%	15.2%	
設備投資額	111	486	+337.6%
減価償却費	644	605	-6.1%
従業員数	358人	364人	+1.7%

- 売上高は9,494百万円と前期比0.7%の増加。国内では、自動車関連が低調だったが、AI関連需要が活況となった。海外では、中華圏を含むアジア向け販売が好調に推移した。
- 売上総利益は売上原価の減少により、5,261百万円と同5.6%増加。売上総利益率は55.4%と同2.6ポイント上昇。
- 販管費は人件費等の増加に伴い、同2.7%増加し、売上高販管費比率は34.8%と同0.7ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同10.9%増の1,959百万円、売上高営業利益率は20.6%と、同1.9ポイント上昇。
- 設備投資額は、設備の更新等により486百万円となった。前期設備投資額が少なかったことから、減価償却費は同6.1%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2025年 3月期末	構成比	2026年 3月期末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	13,791	69.2%	13,459	68.7%	-2.4%
現金及び預金	9,868	49.5%	9,567	48.8%	-3.0%
受取手形及び売掛金	1,393	7.0%	1,418	7.2%	+1.8%
棚卸資産	2,308	11.6%	2,350	12.0%	+1.8%
II 固定資産	6,150	30.8%	6,135	31.3%	-0.2%
有形固定資産	4,842	24.3%	4,765	24.3%	-1.6%
無形固定資産	15	0.1%	28	0.1%	+76.8%
投資その他の資産	1,292	6.5%	1,342	6.8%	+3.8%
資産合計	19,941	100.0%	19,595	100.0%	-1.7%
(負債の部)					
I 流動負債	1,301	6.5%	1,523	7.8%	+17.1%
買掛金	213	1.1%	237	1.2%	+11.0%
II 固定負債	224	1.1%	220	1.1%	-1.9%
負債合計	1,526	7.7%	1,743	8.9%	+14.3%
(純資産の部)					
自己資本合計	18,221	91.4%	17,657	90.1%	-3.1%
純資産合計	18,415	92.3%	17,851	91.1%	-3.1%
負債・純資産合計	19,941	100.0%	19,595	100.0%	-1.7%

流動資産

自己株式の取得及び法人税の支払により現金及び預金が減少したことから前期末比2.4%減少。

固定資産

新規設備投資より減価償却が上回ったこと等から、同0.2%減少。

負債

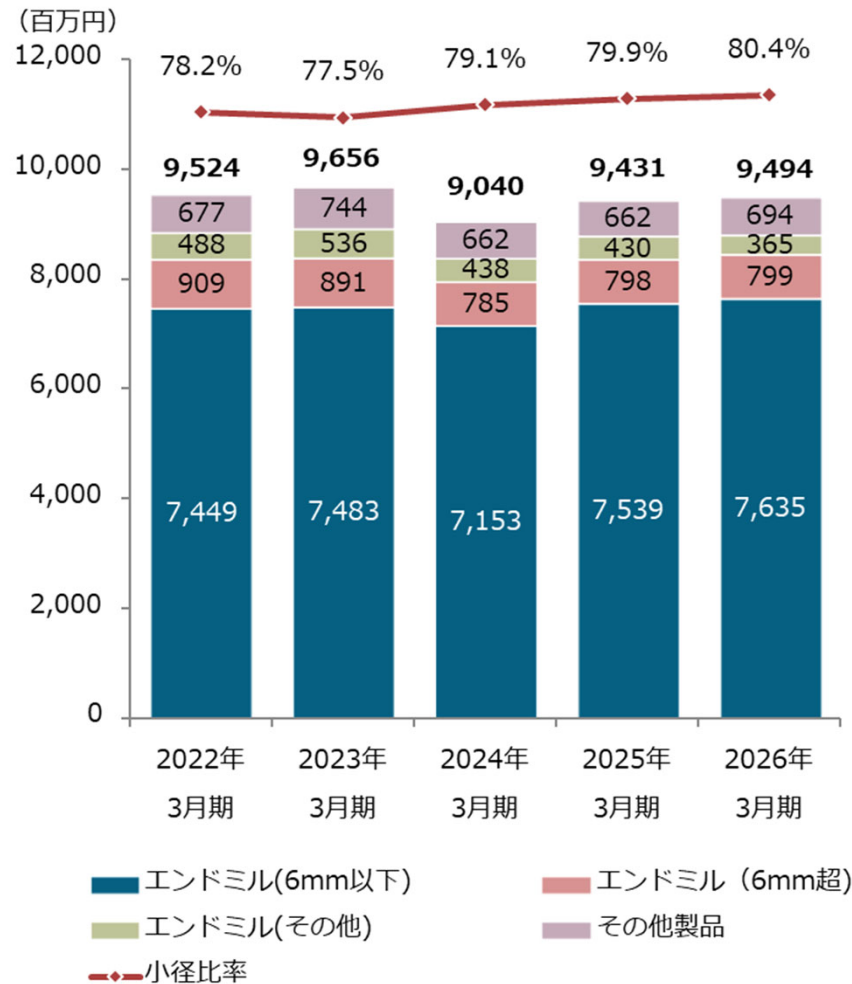
未払金や未払法人税等の増加等により、同14.3%増加。

純資産

自己株式の取得等により同3.1%減少。自己資本比率は90.1%と同1.3ポイント低下。

業績推移（売上高の推移①） 製品別

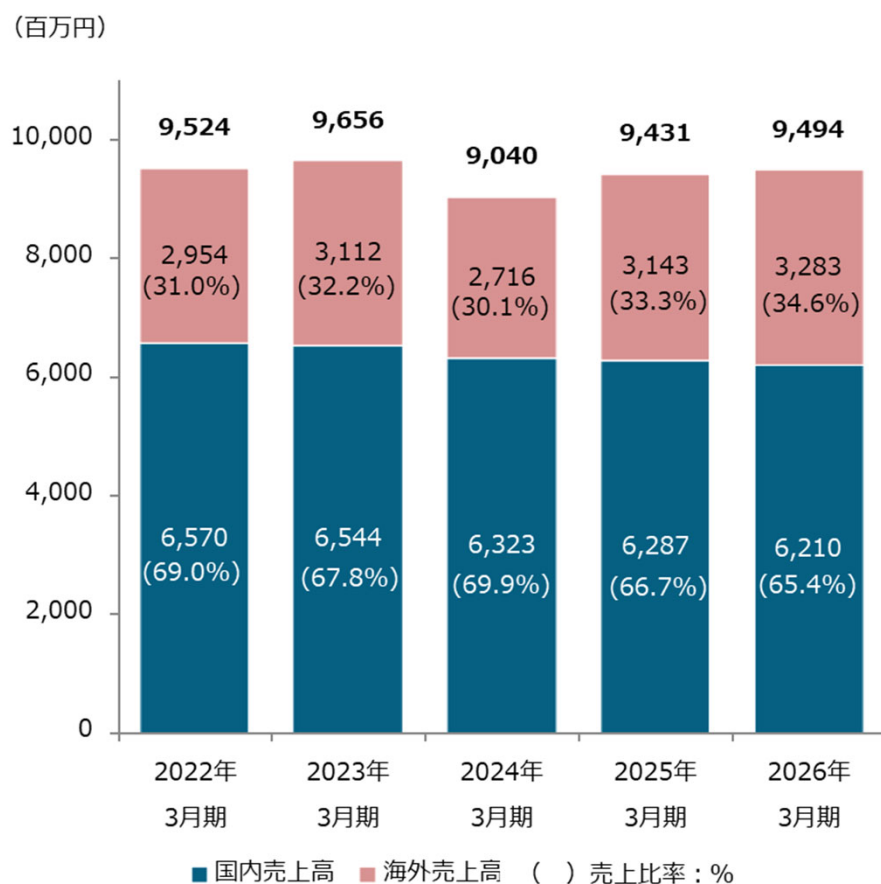
製品別売上高と小径比率の推移



- 製品別売上高の内訳は、エンドミル（6mm以下）が前期比1.3%の増加、エンドミル（6mm超）は同0.1%増加、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同15.2%減少し、工具ケース等のその他製品は同4.8%増加した。
- 売上高9,494百万円のうち、主力のエンドミル（6mm以下）の売上が7,635百万円となり、小径比率は80.4%と同0.5ポイント上昇し、過去最高の比率となった。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

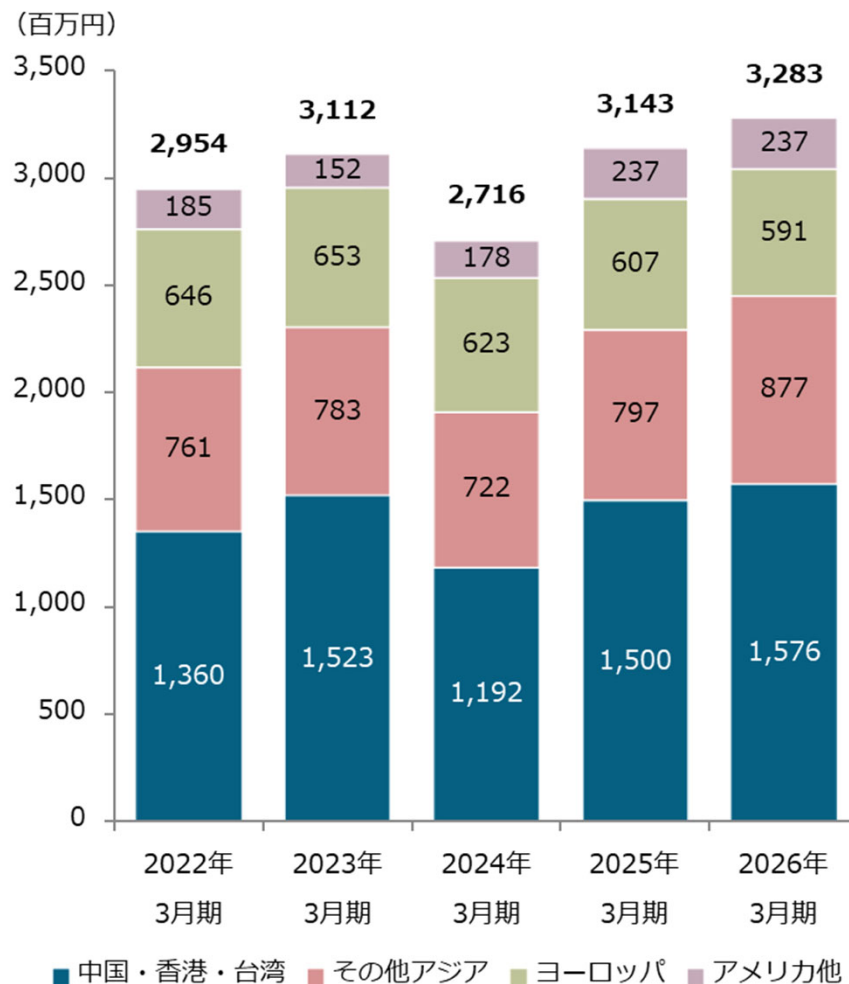
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前期比76百万円、1.2%減少し6,210百万円となった。海外売上高は同139百万円、4.4%増加し3,283百万円、過去最高となった。
- 国内は、自動車関連が米国関税問題により一時低迷した一方で、AI関連需要は堅調に推移した。海外は、中華圏やタイ、インド、ベトナムなどのアジアで好調となった。
- 海外売上高の増加により海外売上高比率は前期比1.3ポイント上昇し34.6%となり、通期ベースで過去最高の比率となった。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

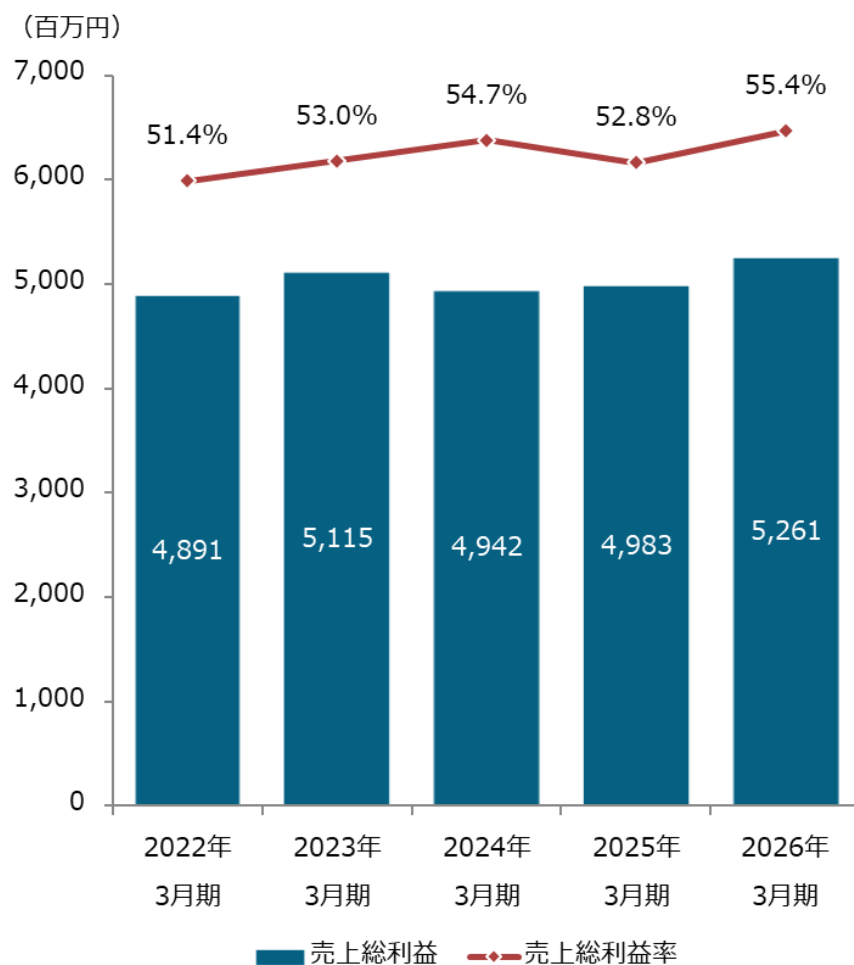
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前期比5.1%増加し1,576百万円となり、過去最高の売上となった。日進工具香港の連結に伴い、中国向けの数字は1-12月分。中国では自動車、スマートフォン、光学、電子部品向けの受注が好調に推移し、年末需要も売上を押し上げた。台湾においても光学関連が好調に推移した。
- その他アジアは同9.9%増加の877百万円となり、過去最高の売上となった。タイでは自動車関連が復調したほか、データセンター関連等も好調に推移した。インドでは内需・外需ともに堅調で、ベトナムでは景気回復に加え、中華圏からの電子関連需要のシフトも追い風となり、売上が増加した。
- ヨーロッパは、自動車関連を中心に低迷が続き、同2.7%減少の591百万円。
- アメリカ・メキシコ向けの数字はNS TOOL USAの連結に伴い1-12月分。関税引き上げ後も順調に推移し、前期比では横ばいとなった。

業績推移（売上総利益の推移）

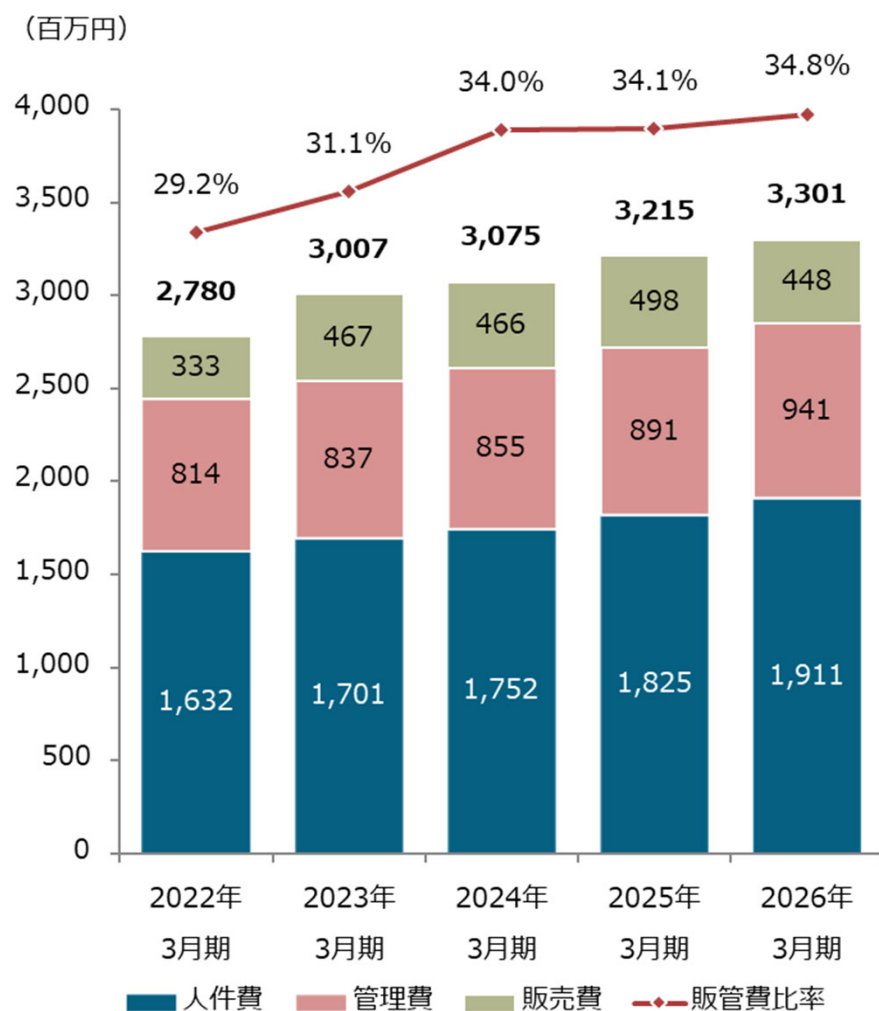
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上増加に伴い増産したことから、材料費は前期比4.2%増加、外注費は価格見直し等もあり同12.6%増加、労務費は同5.0%増加した一方、製造経費は工場消耗品費や製造修繕費等の減少により同12.7%減少した。
- 増産による量産効果に加え、子会社を含めた原価低減の取り組みにより製造原価が減少し、売上原価は同4.8%の減少となった。
- 売上総利益は同5.6%増加し5,261百万円となり、売上総利益率も55.4%と同2.6ポイント上昇した。

業績推移（販管費の推移）

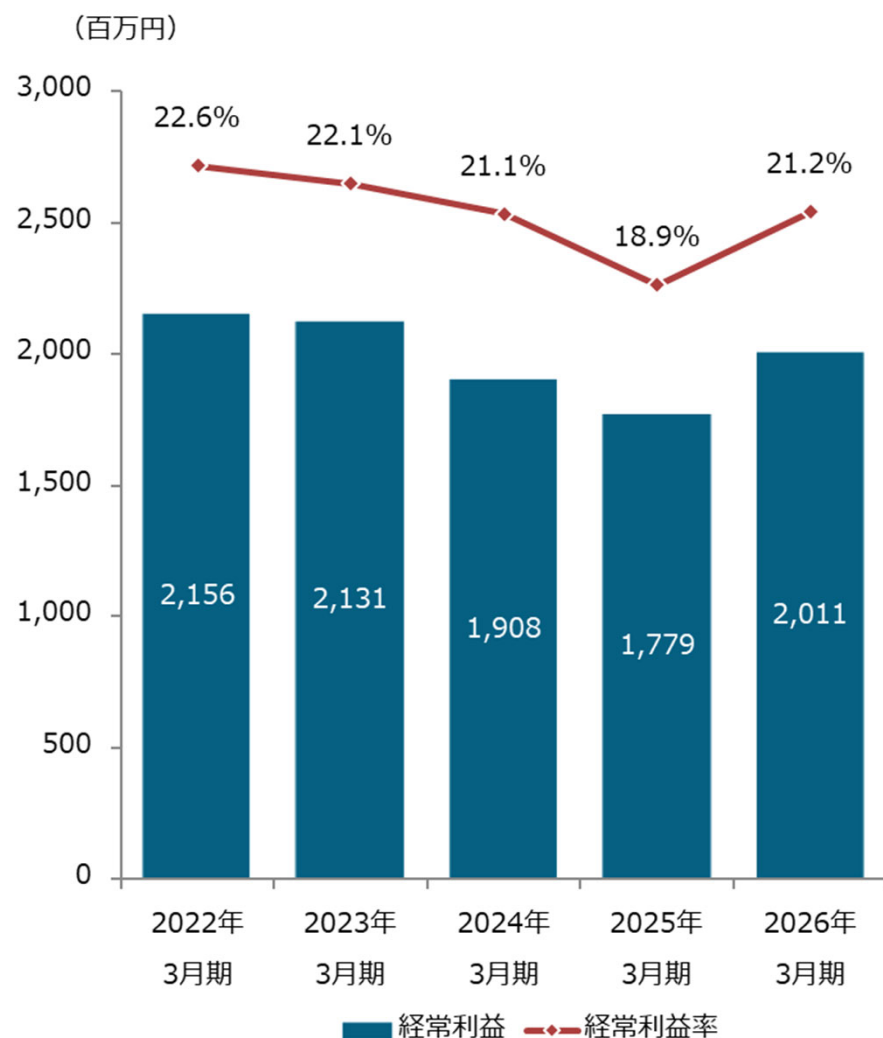
販管費と販管費比率の推移



- 販売費は、前期はカタログ改訂費用や大規模展示会への出展費用が高かったため、主に広告宣伝費と展示会費が減少し、前期比10.1%減少の448百万円となった。
- 人件費は、賃上げに伴う給与の増加等により、同4.7%増加し1,911百万円。
- 販管費全体では同2.7%増加の3,301百万円となり、売上高販管費比率は34.8%と同0.7ポイント上昇した。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 売上高は前期比0.7%増加、また、売上原価が同4.8%減少したこともあり、営業利益は1,959百万円、同10.9%増加した。
- 営業外損益は、金属廃材価格の高騰により作業くず売却益が増加したこともあり、営業外収益が58百万円、営業外費用は6百万円であった。経常利益は2,011百万円、同13.0%増加した。
- 売上高経常利益率は21.2%と前期に比べ2.3ポイント上昇した。

2026年3月期の業績予想



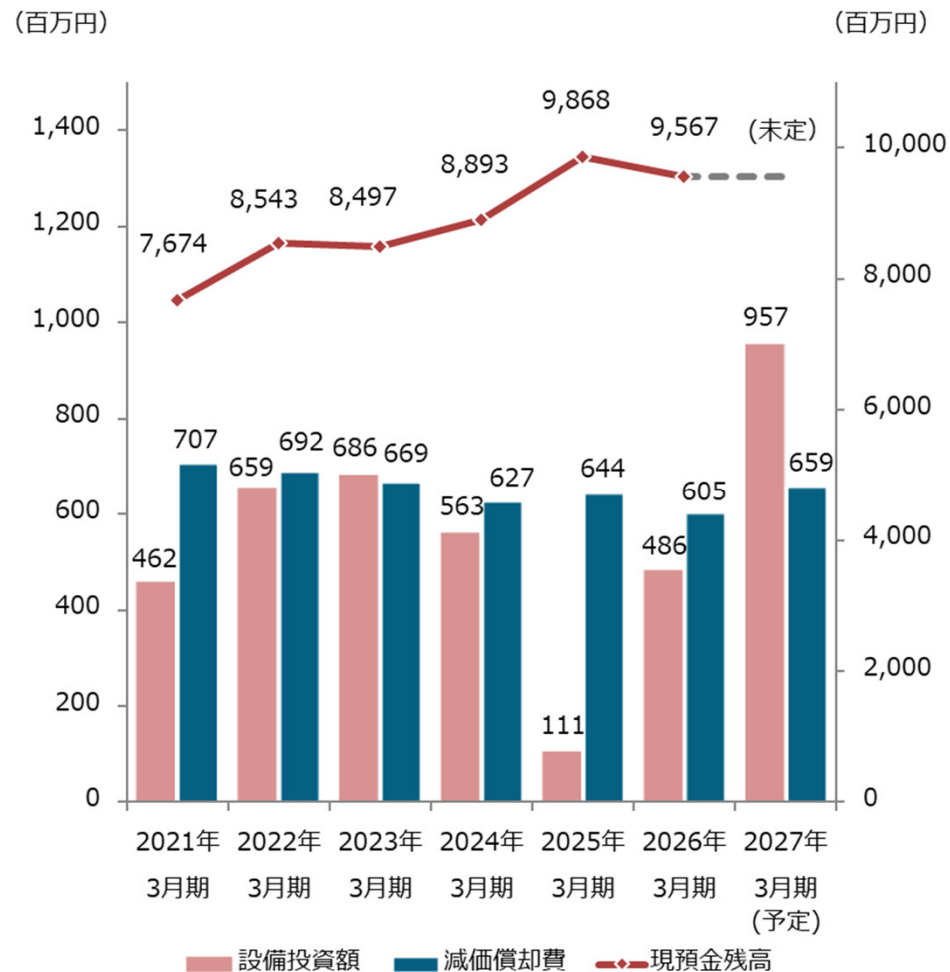
業績予想

(単位：百万円)	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,494	-	-
営業利益	1,959	-	-
経常利益	2,011	-	-
当期純利益	1,442	-	-
設備投資額	486	957	+96.9%
減価償却費	605	659	+8.9%
EPS (円)	58.38	-	-
1株当たり配当金 (円)	30.00	-	-

- 当社グループ製品の主要原材料であるタングステンは、主要生産国である中国の供給制約の影響により、この1年間で価格が大幅に上昇しており、足元においても高値圏で推移している。今後も不透明となっていることから、通期の原価を合理的に見通すことが困難な状況となっている。
- また、原材料価格の販売価格への転嫁方法等については現時点で未確定の要素が多く、売上及び収益への影響も大きいことから、現時点では次期業績予想の開示は差し控え、合理的な算定が可能となった段階で速やかに開示する予定。
- 設備投資は主に生産設備の更新や生産効率向上を図るための設備導入を中心に計画。生産能力を維持・向上させていくため設備投資は継続して実施予定。
- 業績予想が未定のため1株当たり配当金も未定。

設備投資と減価償却費のトレンド

設備投資、減価償却費及び現預金残高の推移



(左軸：設備投資額・減価償却費、右軸：現預金残高)

設備投資増減要因

2023年3月期

主に生産設備の増強等を実施。設備導入が一部次期にずれ込み、期初計画より減少。

2024年3月期

生産設備の増強を予定していたが、設備計画の繰り越しもあり減少。

2025年3月期

新規設備導入が少なく、設備投資額は前期より大きく減少。一方、未稼働であった設備が稼働開始したため減価償却費は増加。

2026年3月期

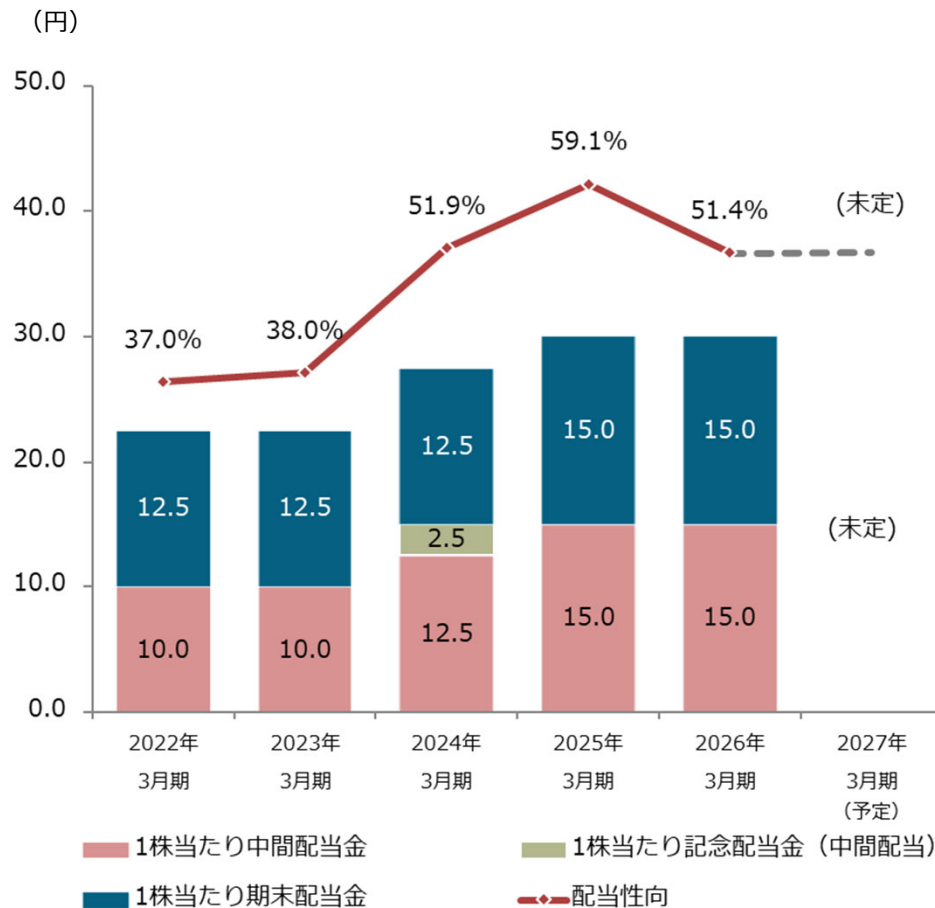
生産設備の更新のほか、開発や営業支援用の設備投資も実施。

2027年3月期計画

継続的な生産設備の更新や生産効率向上を図るための設備導入を計画。減価償却費は増加する見込み。

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2026年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円を予定。
中間配当金15.0円
期末配当金15.0円
業績に対する配当性向は51.4%
- 2027年3月期の1株当たり年間配当金は利益予想が困難なため、現時点では未定。
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

參考資料



日進工具の概要 (2026年3月31日現在)

商号	日進工具株式会社 (NS TOOL CO.,LTD.)
創業	1954年(昭和29年)12月
本社	東京都品川区大井1-28-1 住友不動産大井町駅前ビル6F
資本金	4億5,533万円
代表者	代表取締役社長 後藤 弘治
従業員数	単体:238名、連結:364名
事業内容	超硬エンドミル(切削工具)の製造・販売

沿革・業績推移

← 第1次成長期 → ← 第2次成長期 → ← 現体制 →

売上27.1億円、経常益3.3億円達成

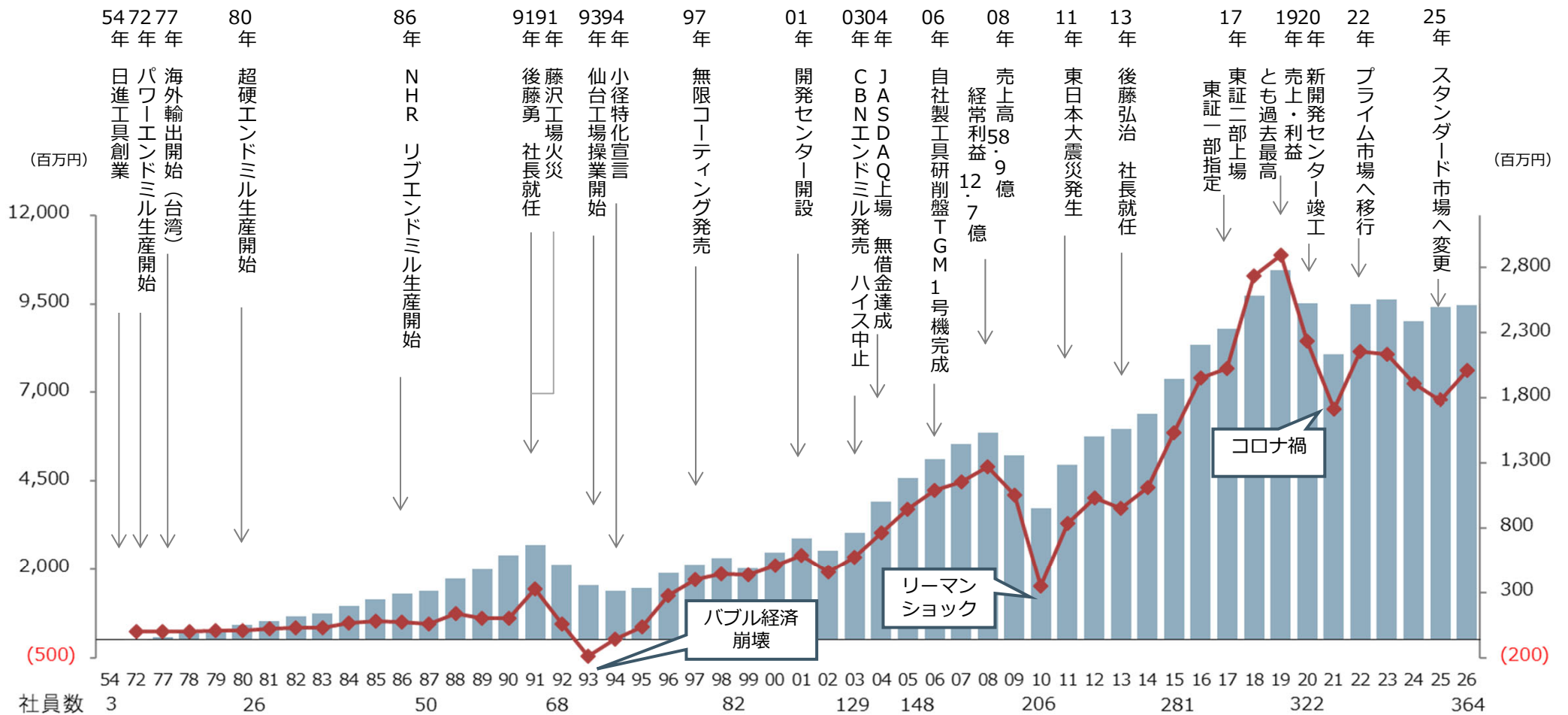
売上58.9億円、経常益12.7億円達成

売上104.7億円、経常益28.9億円達成

後藤 進二

後藤 勇

後藤 弘治



当社製品（超硬エンドミル）について

エンドミルとは、外周部と底部に切れ刃を設け、工作機械（マシニングセンタ）に取付け回転させることにより、金属等の加工を行う切削工具の一種。

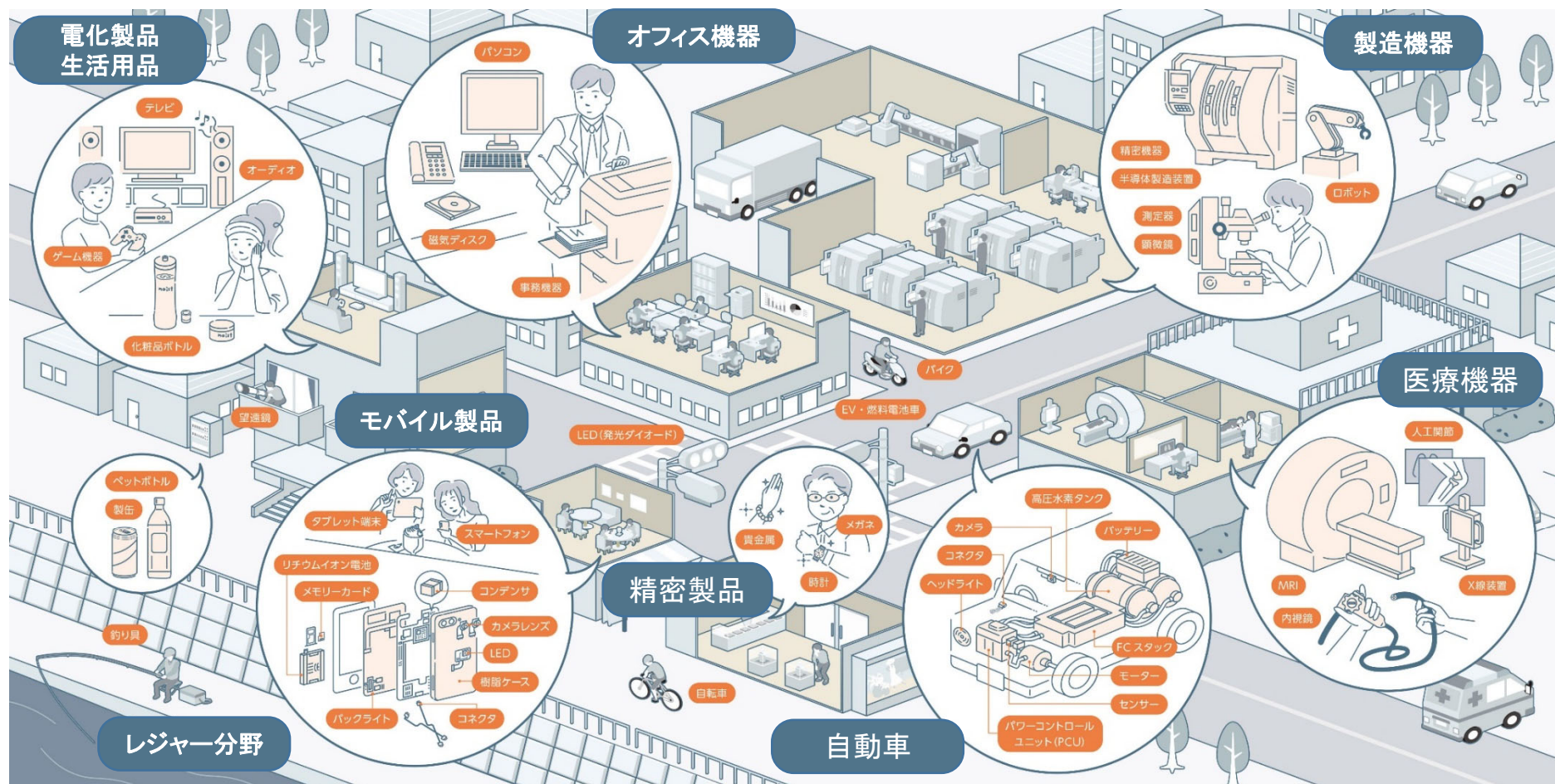
従来はハイス（高速度工具鋼）製が主体であった。

ハイスより硬い超硬合金（炭化タングステンとコバルトの焼結体）を使ったものが超硬エンドミル。

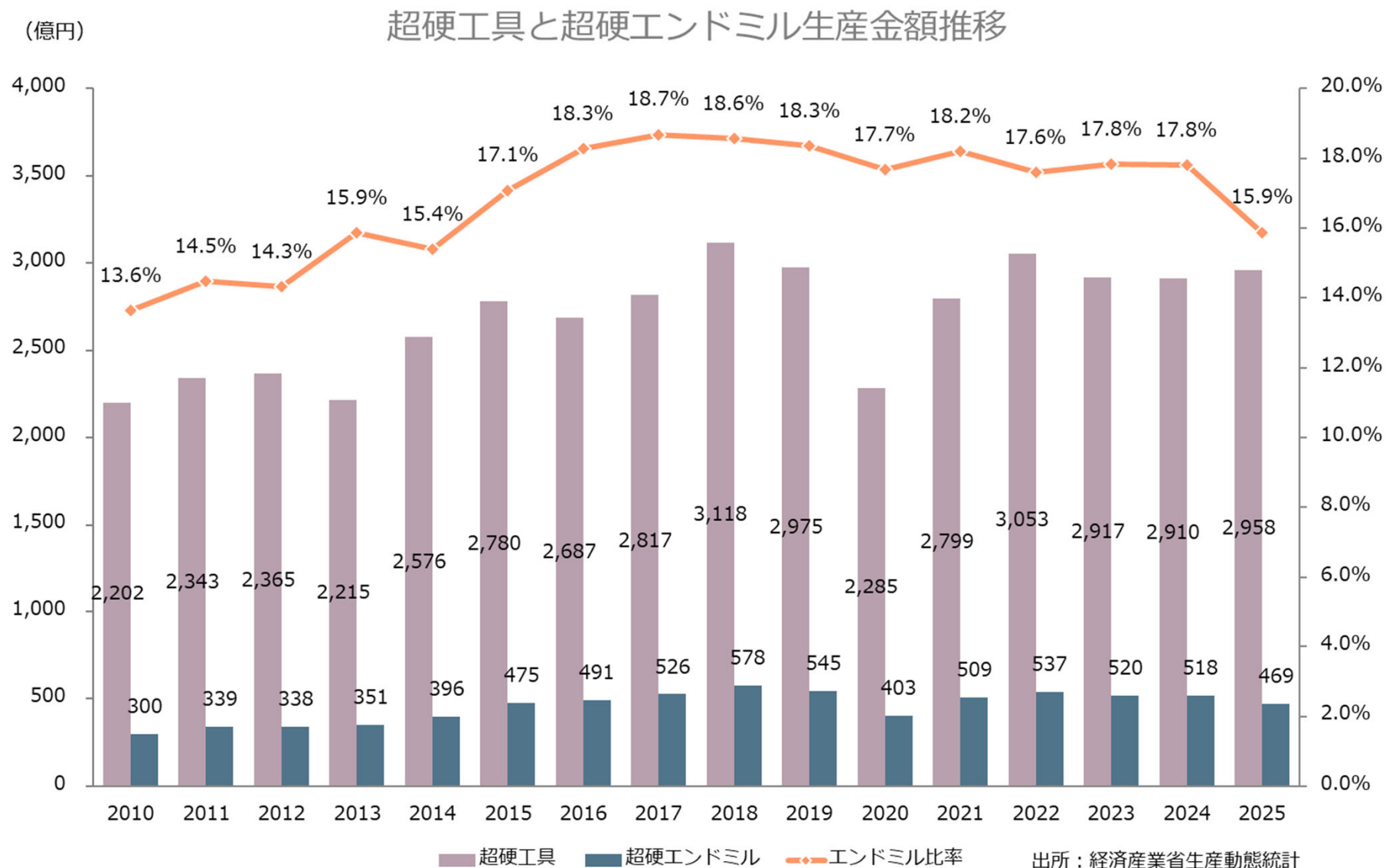


超硬エンドミルの用途

超硬エンドミルは、金型や金属部品等の切削加工に用いられる。
 当社では、刃先の直径が6mm以下となる小径エンドミルに特化しており、
 主に高い精度が要求される精密金型や微細部品等の加工に使用されている。



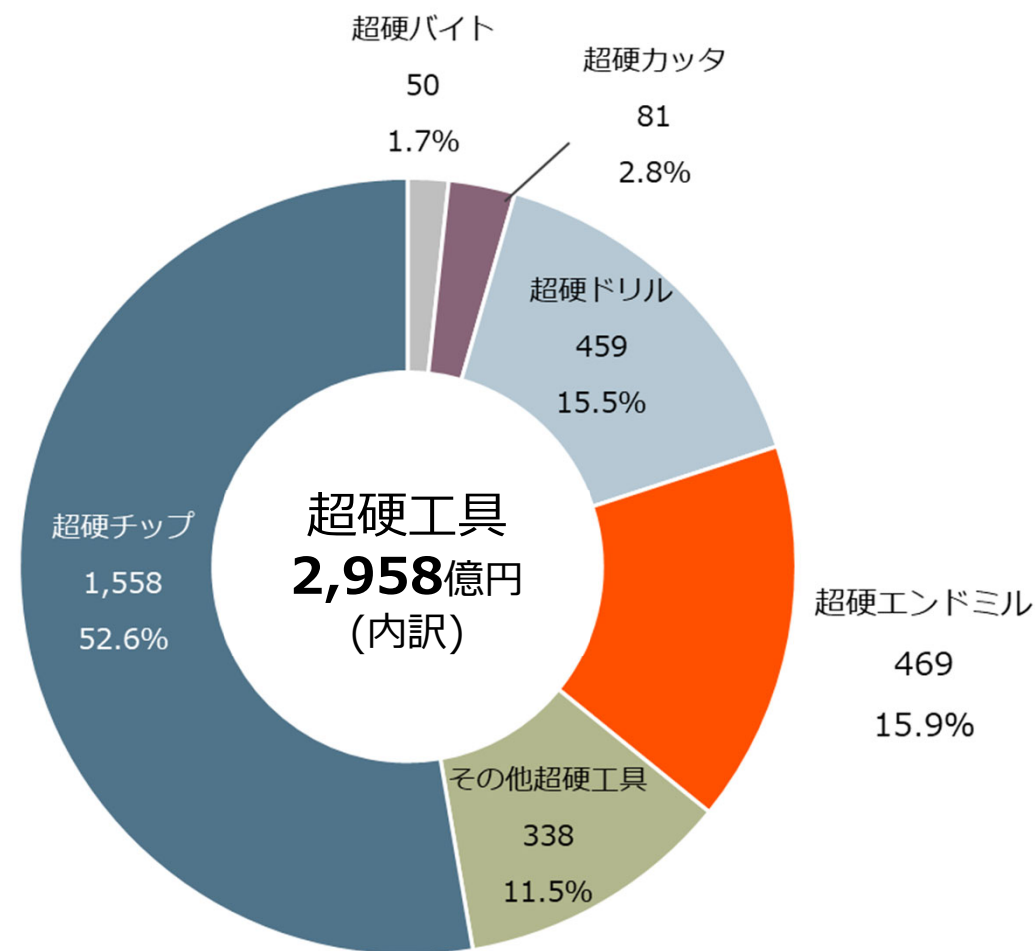
超硬工具と超硬エンドミル市場推移 (暦年)



超硬エンドミル市場の概況

機械工具生産金額 (2025年)	
総額	4,620億円
超硬工具	2,958億円(64.0%)
C(W)BN工具	278億円(6.0%)
ダイヤモンド工具	631億円(13.7%)
特殊鋼切削工具	751億円(16.3%)

出所：経済産業省生産動態統計



日進工具の製品開発サイクル

生産

- ・自社開発機「TGM」による安定した、バラツキのない、高品質な製品の生産



営業



- ・製品の価値をお客様へ正確に伝え、販売につなげる
- ・ユーザーニーズをいち早く把握し、開発部門へ情報共有

開発

- ・他社にはない「NSらしい」製品開発
- ・ニーズをとらえるため開発スピード向上



高付加価値製品の
創造・提供

製品開発を支える健全な財務基盤

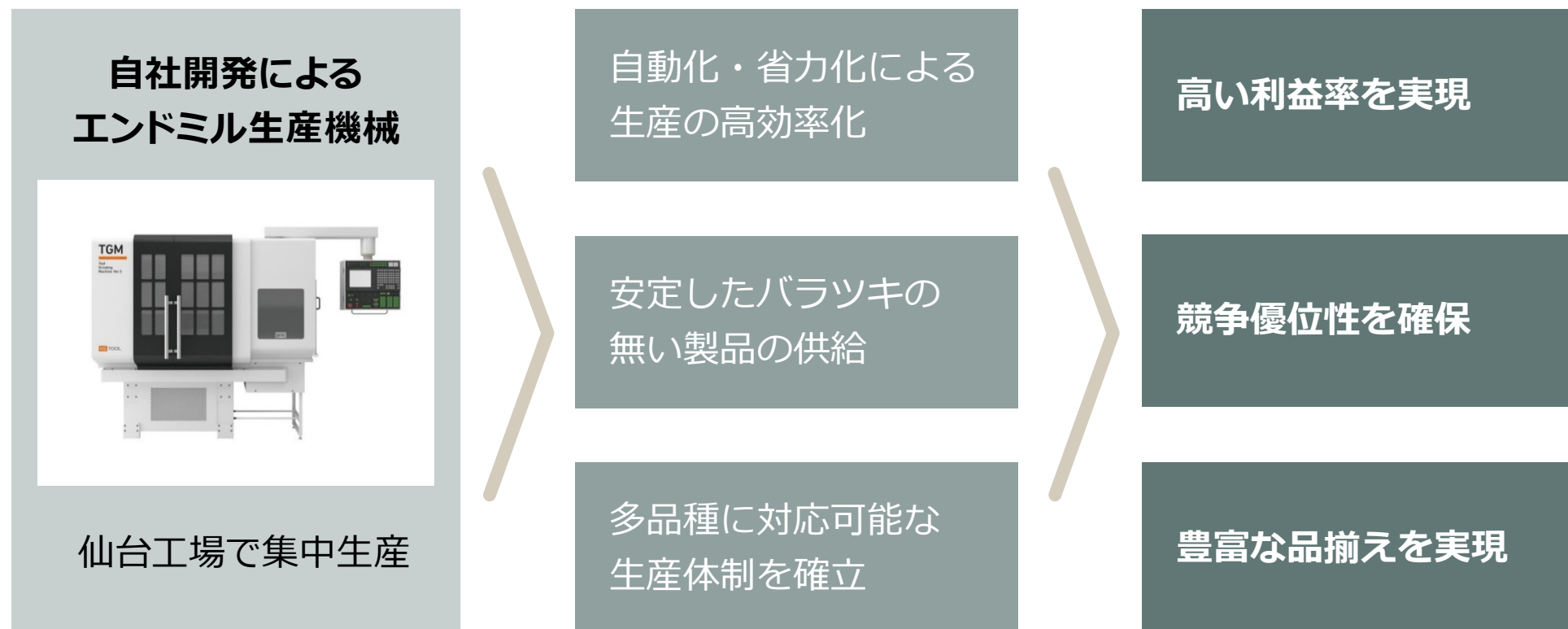
(2026年3月期)

有利子負債 ゼロ

自己資本比率 90.1%

経常利益率 21.2%

自社開発機による自動化（圧倒的な差別化）



他社との「違い」を追求

アジャイル型開発の推進

2026年3月期は開発方針を大きく転換し、多くの新製品を発売しました

CBN3枚刃ロングネックボールエンドミル
SSPB320 *New*
 サイズ R0.1 ~ R0.5 全 24 サイズ



3枚刃のボールエンドミルで
 高能率・高精度加工を実現

CBN4枚刃ロングネックラジラスエンドミル
SSR400 *New*
 サイズ $\phi 0.1 \times R0.01 \sim \phi 3 \times R0.3$
 全 121 サイズ



刃先剛性を高め高能率加工を実現
 $\phi 0.1$ からの4枚刃ラジラスエンドミル

無限コーティングプレミアムPlus
 高硬度鋼加工用4枚刃・6枚刃ラジラスエンドミル
MHDSH445R *New*
 サイズ $\phi 1 \times R0.1 \sim \phi 4 \times R0.5$ 全 15 サイズ



MHDSH645R *New*
 サイズ $\phi 5 \times R0.2 \sim \phi 6 \times R1$ 全 14 サイズ

プレス型や鍛造型など
 70HRC までの高硬度鋼加工に

無限コーティングプレミアム
 4枚刃テーパネックラジラスエンドミル
MTNH430R *New*



サイズ $\phi 0.2 \times R0.03 \times \text{首角} 1^\circ \times 1$
 $\sim \phi 3 \times R0.5 \times \text{首角} 3^\circ \times 30.1$ 全 93 サイズ

工具剛性を高めるテーパネック形状で
 深部も高精度に加工が可能
 小径でも 4 枚刃仕様で高能率加工を実現

規格拡大含め、 14型番の新製品 を市場投入

※画像は一部抜粋

無限コーティングプレミアムPlus
 高硬度鋼高精度加工用2枚刃ボールエンドミル
MSBSH230 *New*



サイズ R0.05 ~ R3 全 15 サイズ

プレス型や鍛造型など
 70HRC までの高硬度鋼加工に

銅電極加工用
 ニック付き3枚刃スクエアエンドミル
DHS340・DHS340F *New*



サイズ $\phi 3 \sim \phi 6$ 全 8 サイズ

荒取り加工に最適な銅電極加工用エンドミル
 特殊ニック形状で切りくずを分断し排出性を向上

樹脂加工用
 バリ低減3枚刃右刃左ねじれスクエアエンドミル
RSE325LH *New*



サイズ $\phi 1 \sim \phi 6$ 全 6 サイズ

加工上面のバリを抑制する右刃左ねじれ仕様
 樹脂加工に特化した刃形状で加工面品位が向上

サーメット
 ロングネックラジラスエンドミル
CHR430R *New*



サイズ $\phi 1 \times R0.1 \sim \phi 6 \times R0.3$
 全 8 サイズ

炭素鋼の平面仕上げ加工をアップグレード
 ゴム型や部品加工の磨き時間を短縮!

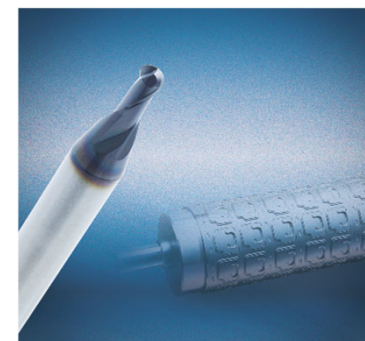
新製品『MSBSH230』 / 『MHDSH445R・MHDSH645R』

2026年3月、無限コーティングプレミアムPlusエンドミルシリーズのラインアップを6型番から9型番に拡大しました

無限コーティングプレミアムPlus 高硬度鋼高精度加工用2枚刃ボールエンドミル

『MSBSH230』

- ✓ プレス型や鍛造型など70HRCまでの高硬度鋼の加工に最適
- ✓ 荒取りから仕上げまでの工程別切削条件表を掲載
⇒ツールパスの作成や安定した加工に貢献



被削材 Work Material	高硬度鋼・ハイス Hardened Steels / High Speed Steels SKD11・SKH51 (~62HRC)										被削材 Work Material	高硬度鋼・ハイス Hardened Steels / High Speed Steels SKD11・SKH51 (~62HRC)									
	荒取り Roughing					取り残し Stock removal (Inner Corner)						中仕上げ Semi-Finishing					仕上げ Finishing				
	回転数 Spindle Speed	送り速度 Feed	切込み量 Depth of Cut	残し代 Stock allowance	材料除去率 Material removal rate	回転数 Spindle Speed	送り速度 Feed	切込み量 Depth of Cut	残し代 Stock allowance	回転数 Spindle Speed		送り速度 Feed	切込み量 Depth of Cut	残し代 Stock allowance	回転数 Spindle Speed	送り速度 Feed	切込み量 Depth of Cut	残し代 Stock allowance			
R0.05	40,000	100	0.003	0.005	0.005	0.002	40,000	90	0.003	0.005	R0.05	40,000	270	0.003	0.002	40,000	160	0.002	0		
R0.075	40,000	150	0.003	0.005	0.006	0.002	40,000	130	0.003	0.006	R0.075	40,000	390	0.005	0.003	40,000	270	0.003	0		
R0.1	40,000	320	0.01	0.01	0.009	0.032	40,000	280	0.009	0.009	R0.1	40,000	450	0.006	0.004	40,000	320	0.004	0		
R0.15	40,000	360	0.01	0.02	0.012	0.072	40,000	320	0.009	0.012	R0.15	40,000	610	0.008	0.005	40,000	480	0.005	0		
R0.2	40,000	820	0.02	0.05	0.015	0.82	40,000	730	0.018	0.015	R0.2	40,000	780	0.01	0.006	40,000	580	0.007	0		
R0.25	40,000	1,000	0.025	0.05	0.019	1.3	40,000	900	0.023	0.019	R0.25	40,000	1,010	0.013	0.008	40,000	710	0.009	0		

無限コーティングプレミアムPlus 高硬度鋼加工用4枚刃・6枚刃ラジアスエンドミル

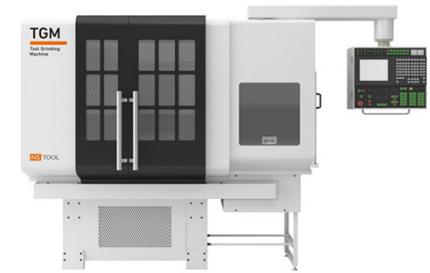
『MHDSH445R・MHDSH645R』

- ✓ 高剛性な多刃設計と強ねじれ角を採用し、ハイス材などの難削材加工に最適



日進工具のサステナビリティ

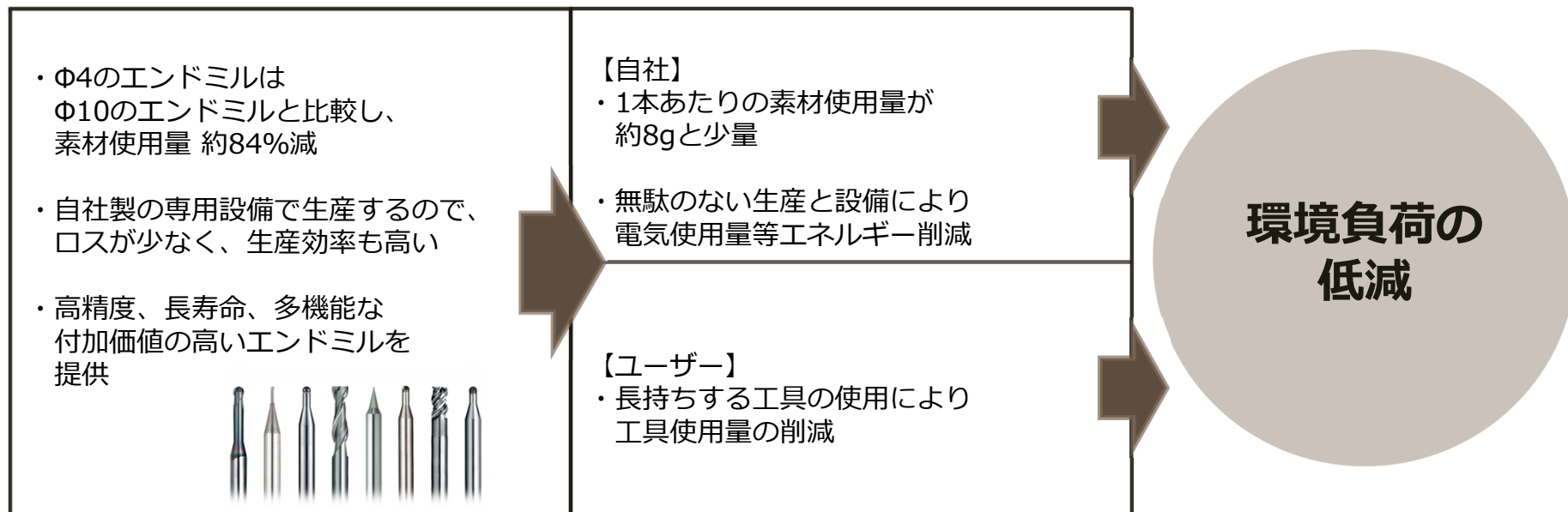
「人と地球にやさしい製品を、最小限の資源でつくり、環境負荷の低減に努めます。」



自社開発のエンドミル生産機械

小径工具に特化

省資源化



事業活動においては・・・

- ・ 最小限の資源を最大限有効活用することに努めます。
- ・ 使用済製品のリユースやリサイクル、リデュースの推進など、環境保全を重視した取り組みを実行して参ります。

コーポレート・ガバナンスの体制 (2026年3月31日現在)

形態	監査等委員会設置会社
取締役の人数	10名
うち、監査等委員	5名
うち、社外取締役の人数	5名
社外取締役のうち独立役員	5名
任意の委員会	指名・報酬委員会 (社外取締役3名、社内取締役1名で構成)
取締役の任期	1年 (監査等委員は2年)
取締役へのインセンティブ付与	株式報酬制度・業績連動賞与 (監査等委員は除く)
執行役員制度	有 (現在5名)
会計監査人	そうせい監査法人

グループ会社（連結子会社）の概要 （2026年3月31日現在）

株式会社ジーテック

所在地

東京都品川区

事業内容

切削工具の販売



株式会社日進エンジニアリング

所在地

本社：宮城県黒川郡大和町
新潟工場：新潟県魚沼市

事業内容

コーティング加工、再研磨、
切削工具の製造



株式会社牧野工業

所在地

福島県白河市

事業内容

工具ケースを主力としたプラスチック成形品の製造・販売



NS TOOL HONG KONG LIMITED

（日進工具香港有限公司）

所在地

中華人民共和国香港特別行政区

事業内容

切削工具の販売（香港・中国）



NS TOOL USA, INC.

所在地

アメリカ合衆国ミシガン州
ロチェスターヒルズ

事業内容

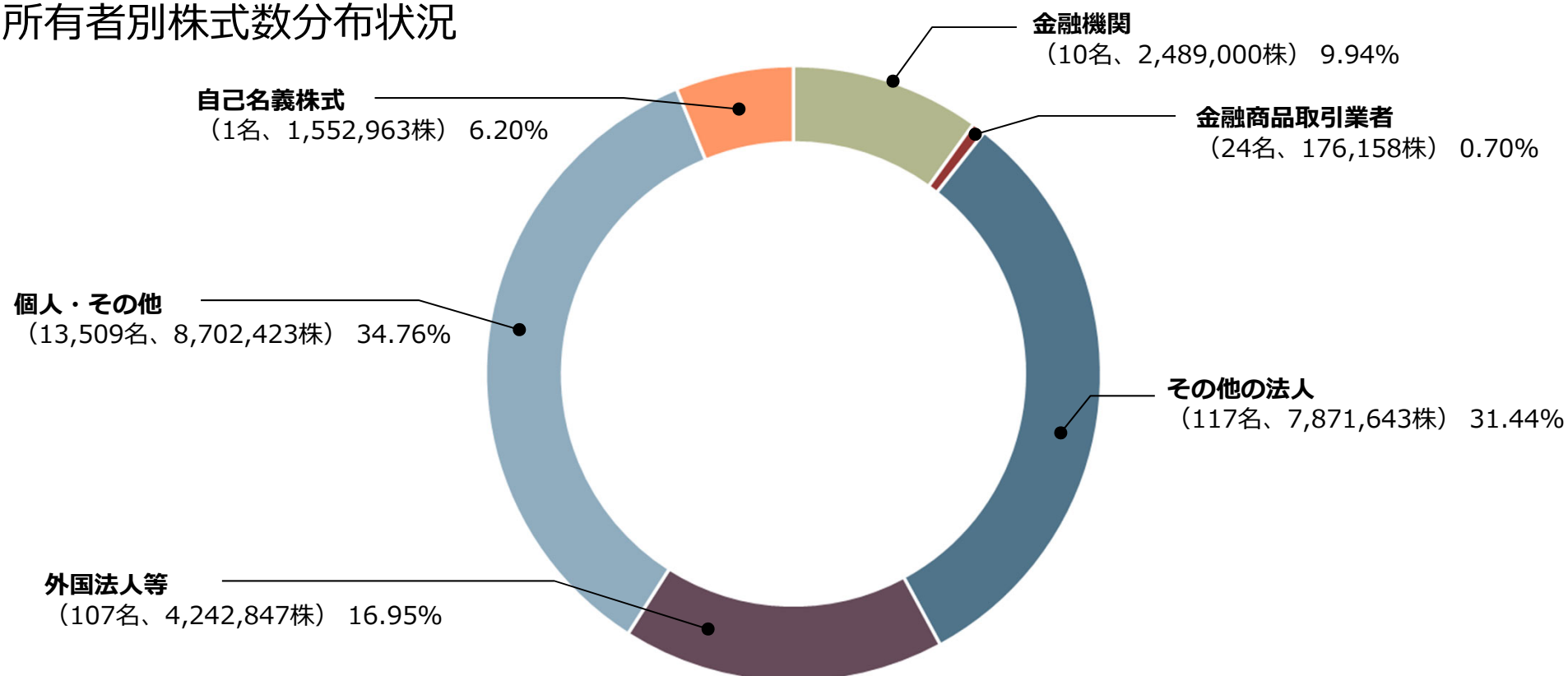
切削工具の販売（米国）



株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	38,400,000株
発行済株式総数	25,035,034株
株主数	13,768名

所有者別株式数分布状況

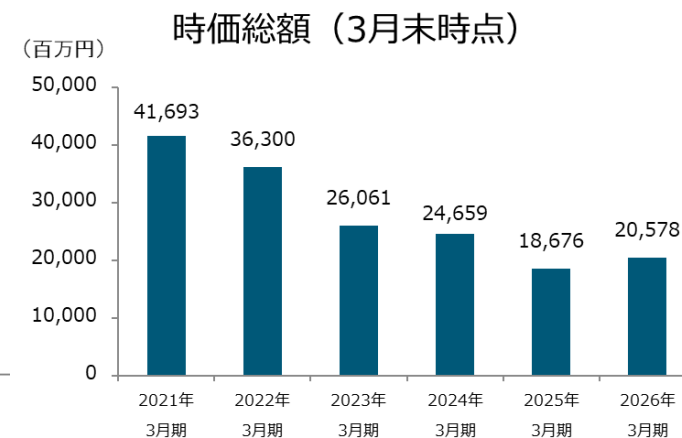
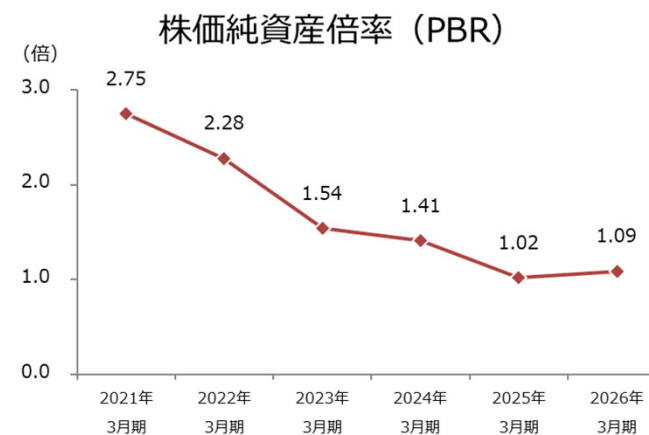
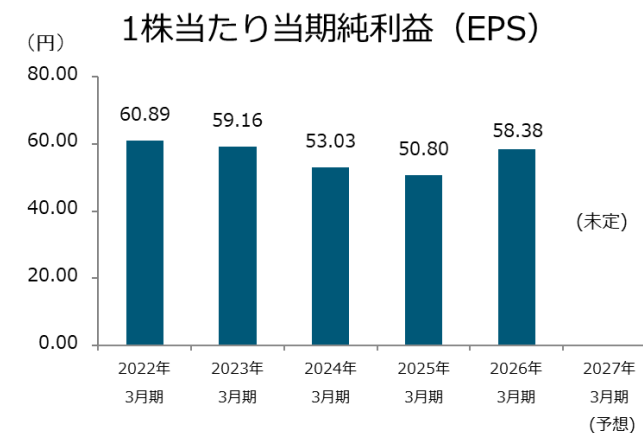
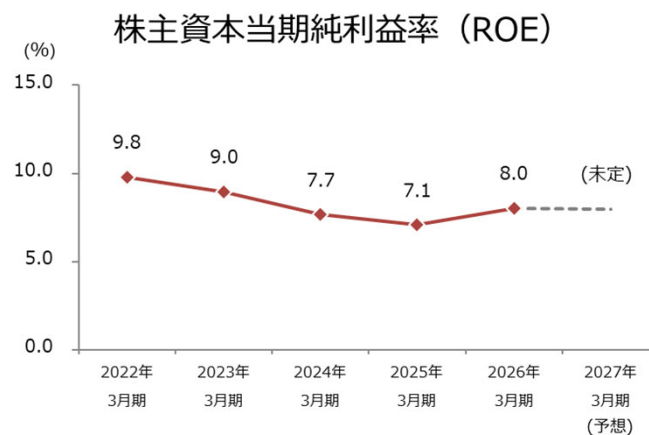
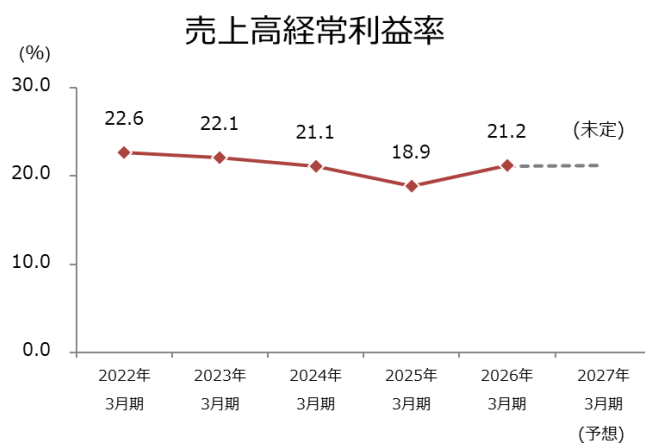


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績
売上高	9,524	9,656	9,040	9,431	9,494
営業利益	2,111	2,108	1,867	1,767	1,959
営業利益率	22.2%	21.8%	20.7%	18.7%	20.6%
経常利益	2,156	2,131	1,908	1,779	2,011
経常利益率	22.6%	22.1%	21.1%	18.9%	21.2%
当期純利益	1,522	1,475	1,320	1,264	1,442
当期純利益率	16.0%	15.3%	14.6%	13.4%	15.2%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	16,165	17,200	17,729	18,415	17,851
総資産額	17,874	18,857	19,241	19,941	19,595
自己資本比率	89.2%	90.1%	91.1%	91.4%	90.1%
設備投資額	659	686	563	111	486
減価償却費	692	669	627	644	605
1株当たり配当金（円）	22.50	22.50	27.50	30.00	30.00
従業員数（人）	348	352	350	358	364

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

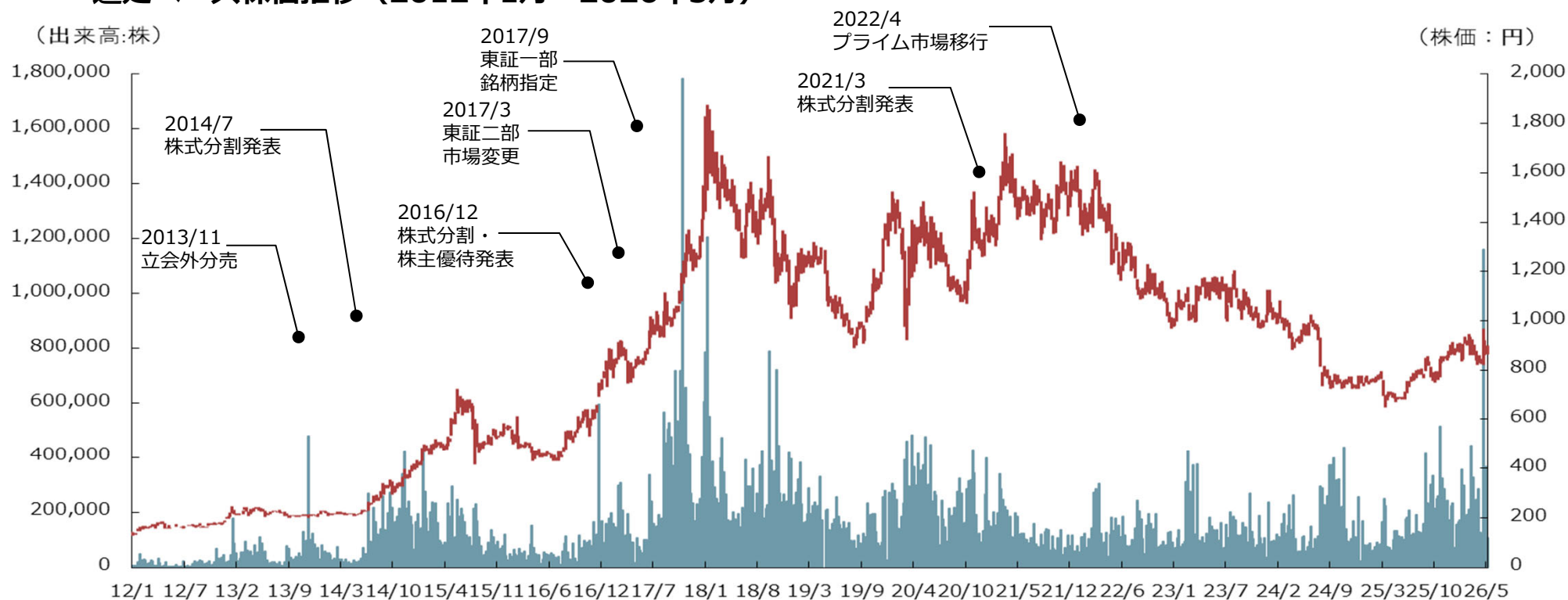
投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2026年5月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2026年5月12日現在）

売買単位	100株
時価総額	226億円
ROE(26/3期実績)	8.0%

単元株価格	9万500円
PER(26/3期実績)	15.50
PBR(26/3期実績)	1.20倍

IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes links for 'お知らせ' (Notice), 'カタログ' (Catalog), 'お問い合わせ' (Contact Us), 'サイトマップ' (Site Map), and 'グループ会社' (Group Companies). The main menu highlights 'IR情報' (IR Information). The page content is divided into two main sections: 'IRトピックス' (IR Topics) and 'IRニュース' (IR News). The 'IRトピックス' section lists recent reports such as '2026年3月期 第3四半期決算概要' and '2026年3月期 中間報告書'. The 'IRニュース' section lists updates like '業績予想の修正に関するお知らせ' and '役員の変動に関するお知らせ'. A right-hand sidebar contains a 'IR情報' menu with sub-items like 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', and '経営方針・体制・コーポレート・ガバナンス'. At the bottom, there is a 'よくあるご質問' (FAQ) section and an 'IRニュースメール登録' (IR News Email Registration) button.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼財務経理部長	戸田	覚
財務経理部	経理課長	佐原	大樹
財務経理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。